

## 核医学検査（副甲状腺シンチ）の説明書

様の検査は、\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日（ ）

\_\_\_\_時 \_\_\_\_分の予定です。

\* 予定時間の 20 分前までに、JR 広島病院 1 番受付にお越しください。

\* 飲食制限はありません。

## \* 核医学検査について

ガンマ線を放出する薬（放射性医薬品）を注射して、身体の中から放出されるガンマ線を専用のカメラを用いて撮影します。この薬は特定の臓器や病気に集まりやすく、検査内容により注射する薬の種類が異なります。狭心症などの心臓疾患、副甲状腺、骨転移などの腫瘍病変、認知症やパーキンソン病を始めとする神経疾患など、様々な『機能診断』に利用されています。

薬には放射性物質が含まれているため被ばくがありますが、放出される放射線は微量で、時間の経過とともに少なくなる性質があります。また、副作用の発生頻度は非常に低く安全です。薬は高価ですが、健康保険が適用されます。

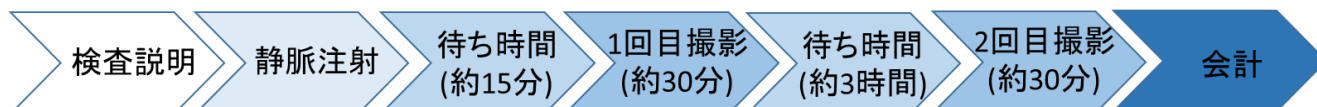
## \* 注意事項

- ◇ 普段から服用している薬がある方は、必ず医師にご相談ください。
- ◇ アレルギーをお持ちの方、妊娠の可能性のある方や妊婦の方、授乳中の方は、必ず医師にご相談ください。
- ◇ 検査後、近日中に飛行機に搭乗される予定がある方は、放射線セキュリティーアラームにより検出される場合があるため、事前にスタッフまでお知らせください。

## 副甲状腺シンチグラフィ検査について

- 副甲状腺は、甲状腺の後ろ（背面）にあり、通常は上下 2 対の合計 4 個あることが多く、米粒大の大きさです。
- 副甲状腺シンチグラフィに使用される薬は、『副甲状腺機能亢進症における局在診断』の目的などに使用されています。
- 待ち時間の過ごし方については、担当者からご説明させていただきます。
- この検査の前処置はありません。

## \* 副甲状腺シンチグラフィ検査の流れ



\* ご不明な点や検査を受けられなくなった場合などは、紹介施設または下記までご連絡下さい。

JR 広島病院 放射線科 : (082)-262-1178 または地域連携室 : (082)-262-1581

受付時間 : 平日 8:40~17:00

コピーしてご利用ください。ホームページからダウンロードもできます。(2017.12 作成)